

(あて先)宇都宮市長  
住宅改修が必要な理由書  
基本情報

様式第33号・33-1号(その他)

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年月日	性別	男女
	被保険者氏名		要介護認定 (該当に )		要支援	要介護			
	住所	経過的 ・1 ・2 ・3 ・4 ・5							

作成者	現地確認日	平成 年月日	作成日	平成 年月日
	所属事業所			
	資格	<small>(作成者が介護支援専門員でないとき)</small>		
	氏名			
	連絡先			

保険者	確認日	平成 年月日	評価欄
	氏名		

総合的状況

利用者の身体状況	介護状況	住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか	福祉用具の利用状況と		
			住宅改修後の想定	改修前	改修後
			車いす		
			特殊寝台		
			床ずれ防止用具		
			体位変換器		
			手すり		
			スロープ		
			歩行器		
			歩行補助つえ		
			認知症老人徘徊感知機器		
			移動用リフト		
			腰掛便座		
			特殊尿器		
			入浴補助用具		
			簡易浴槽		
			その他		
			・		
			・		
			・		

住宅改修が必要な理由書

P1の「総合的状況」を踏まえて、を改善しようとしている生活動作 具体的な困難な状況 改修目的と改修の方針 改修項目を具体的に記入してください。

活動	改善しようとしている生活動作	の具体的な困難な状況(…なの で…で困っている)を記入してください	改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	改修項目(改修箇所)
排泄	トイレまでの移動 トイレ出入り口の出入 (扉の開閉を含む) 便座からの立ち座り(移乗を含む) 衣服の着脱 排泄時の姿勢保持 後始末 その他( )		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	手すりの取り付け ( ) ( ) ( ) ( )
	浴室までの移動 衣服の着脱 浴室の出入口の出入 (扉の開閉を含む) 浴室内での移動(立ち座りを含む) 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) 浴槽の出入(立ち座りを含む) 浴槽内での姿勢保持 その他( )		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	段差の解消 ( ) ( ) ( )
外出	出入口までの屋内移動 上がりかまち昇降 車いす等、装具の着脱 履物の着脱 出入口の出入 (扉の開閉含む) 出入口から敷地外までの 屋外移動 その他( )		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	引き戸等への取替え ( ) ( ) 便器の取替え ( ) ( )
	その他の活動		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	滑り防止等のための床材の変更 ( ) ( ) その他 ( ) ( ) ( )

(あて先)宇都宮市長  
住宅改修が必要な理由書  
基本情報

記載例

様式第33号・33-1号(その他)

利用者	被保険者番号		年齢	歳	生年月日	明治 大正 昭和	年月日	性別	男女
	被保険者氏名	宇都宮 太郎	要介護認定 (該当に )		要支援	要介護			
	住所	宇都宮市旭1丁目1番5号							
					1・2	経過的 ①・2・3・4・5			

作成者	現地確認日	平成 年 月 日	作成日	平成 年 月 日
	所属事業所	社判		
	資格	(作成者が介護支援専門員でないとき)		
	氏名			
	連絡先	028(632)		

保険者	確認日	平成 年 月 日	評価欄
	氏名		

総合的状況

利用者の身体状況	改修前における利用者の要介護等の原因となった疾病や状況,日常生活動作が具体的に分かるように記入する。 例)脳梗塞による左半身麻痺のため立位のバランス悪く,室内は家具や壁などに触りながらの伝い歩きである。何かにつかまれば,寝返りや立ち上がりはできるが,段差が20cm以上になると,バランスを崩し易く昇降の際介助を必要とする。	福祉用具の利用状況と	
		住宅改修後の想定	改修前 改修後
利用者の身体状況			
介護状況	家族の状況,主な介護者を含む介護状況を記入する。 例)妻との二人暮らし。近所に長女夫婦が居住し,外出時や入浴の介助を週に2~3回実施している。トイレでの排便時,立ち座りが不安定なため,必ず妻に対応してもらっているが,排便は一人で行いたいという気持ちが日に日に増している。		
住宅改修により,利用者等は日常生活をどう変えたいか	住宅改修によって利用者・家族は,介護状況,日常生活動作社会参加など,日常生活をどう変えたいと思っているのか(特に何を希望しているのか),また,その期待する効果を記入する。(福祉用具活用を含めて記入する。) 例)和式便器を洋式便器に取替え,手すりを取り付けることで介助を受けずに立ち座りが出来るようになりと考える。 例)玄関の上がり框が20cmあり,踏み台を取り付けてすりを取り付けることで,一人で安心して外出できるようになると考える。浴室については,手すりの取り付けも検討したが,現在利用している福祉用具(手すり,入浴台)の活用で,今回は経過をみることにした。		
		車いす	
		特殊寝台	
		床ずれ防止用具	
		体位変換器	
		手すり	√
		スロープ	
		歩行器	
		歩行補助つえ	
		認知症老人徘徊感知機器	
		移動用リフト	
		腰掛便座	√
		特殊尿器	
		入浴補助用具	√
		簡易浴槽	
		その他	
		_____	
		_____	
		_____	

住宅改修が必要な理由書

P1の「総合的状況」を踏まえて、を改善しようとしている生活動作 具体的な困難な状況 改修目的と改修の方針 改修項目を具体的に記入してください。

活動	改善しようとしている生活動作	の具体的な困難な状況(…なの で…で困っている)を記入してください	改修目的・期待効果をチェックした上で、 改修の方針(…することで…が改善できる)を記入してください	改修項目(改修箇所)	
排泄	<input type="checkbox"/> トイレまでの移動 トイレ出入り口の出入 (扉の開閉を含む) <input type="checkbox"/> 便座からの立ち座り(移乗を含む) 衣服の着脱 排泄時の姿勢保持 後始末 その他( )	(例) 半身麻痺があるため和式便器での立ち座り時にバランスを崩し易く、腰掛便座も導入したが、妻の介助を必要としている。	<input type="checkbox"/> できなかったことをできるようにする <input type="checkbox"/> 転倒等の防止、安全の確保 <input type="checkbox"/> 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 <input type="checkbox"/> 介護者の負担の軽減 その他( )	(例) 洋式便器に取替え、手すりを取り付けることで一人でも安心してトイレを利用したい時に使えるようになる。 (例) 廊下の移動が一人で行えるように、連続した手すりを設置する。	<input type="checkbox"/> 手すりの取り付け ( 便器壁面(L字) ) ( 廊下移動経路 ) ( ) ( ) ( )
入浴	浴室までの移動 衣服の着脱 浴室の出入口の出入 (扉の開閉を含む) 浴室内部での移動(立ち座りを含む) 洗い場での姿勢保持 (洗体・洗髪を含む) 浴槽の出入(立ち座りを含む) 浴槽内部での姿勢保持 その他( )		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	<input type="checkbox"/> 段差の解消 ( 上がり框に踏み台設置 ) ( ) ( ) ( )	
外出	出入口までの屋内移動 上がりかまち昇降 車いす等、装具の着脱 履物の着脱 出入口の出入 (扉の開閉含む) 出入口から敷地外までの屋外移動 その他( )		できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	を記入し、現状の問題点をふまえた上で、改修目的の項目をチェックする。 引き戸等への取替え ( ) ( ) <input type="checkbox"/> 便器の取替え ( ) ( )	
その他の活動	現状の改善を必要とする生活動作にレ点でチェックをする。今回住宅改修を必要とするところのみ記入する。	生活動作で困っていること、問題点について、その状況や介護の現状を具体的に記入する。	できなかったことをできるようにする 転倒等の防止、安全の確保 動作の容易性の確保 利用者の精神的負担や不安の軽減 介護者の負担の軽減 その他( )	各行為の困難事項を改善するために、どのような改修を行うのか、その方針を記入する。 滑り防止等のための床材の変更 ( ) ( ) その他 ( ) ( ) ( )	